

熊本学園大学論集『総合科学』

第25巻 第1号 (通巻第47号)

原口行雄教授退職記念号



原 口 行 雄 教 授

原口行雄教授 経歴・業績

原口 行雄 1949年2月24日 生

1. 学 歴

熊本大学法文学部文科英語学英文学専攻卒業（1968年3月～1972年3月）

高知大学文学部文学専攻科英語学英文学専攻修了（1975年4月～1976年3月）

九州大学大学院文学研究科修士課程英語学英文学専攻修了（1983年4月～1985年3月）
文学修士

九州大学大学院文学研究科博士後期課程英語学英文学専攻中退（1985年4月～1987年10月）

広島大学大学院文学研究科博士課程後期修了（2010年10月～2015年3月）文学博士

2. 職 歴

株式会社日本交通公社東京本社外人旅行事業部北米二課（1972年4月～1974年12月）

福岡県立東筑高等学校英語科教諭（1976年4月～1982年3月）

福岡県立宇美商業高等学校英語科教諭（1982年4月～1983年3月）

私立熊本短期大学教養科専任講師（1987年10月～1992年3月）英語担当

同短期大学教養科助教授（1992年4月～1994年3月）英語担当

私立熊本学園大学経済学部助教授（1994年4月～1999年3月）英語担当

同大学経済学部教授（1999年4月～2017年3月）英語担当

同大学経済学部客員教授（2017年4月～2019年3月）英語担当

同大学退職（2019年3月31日付）

3. 業 績

1) 著 書

1998年 A Bibliography of English Language Studies in Japan 1900—1996『わが国における英語学研究文献書誌 1900-1996』共編著南雲堂 3-1195

2) 論 文

1985年 A Study of the Wessex Dialect in Hardy's Novels（和文）『CAIRN』第28号 65-102

1986年 The Use of Dialect in Thomas Hardy's First Four Novels with Special Reference to the Pronouns（和文）『CAIRN』第29号 17-35

1987年 The Use of Dialect in Thomas Hardy's First Four Novels with Special Reference to the Verbs and Auxiliaries 『熊大英語英文学』第29・30号 277-301

- 1989年 英語法助動詞 ought の発達：15世紀末を中心として 『熊本短大論集』 第40巻 第2号 225-248
- 1992年 15世紀後半の英語における形容詞の比較変化 『熊本学園創立50周年記念論集』 131-152
- 1992年 16世紀英語における形容詞の比較変化 『近代英語研究』 第9号 1-18
- 1994年 シェークスピアの劇における形容詞の屈折比較変化と迂言比較変化 熊本学園大学論集『総合科学』 第1巻第1号 (通巻第1号) 園田富雄教授退職記念号 147-162
- 1994年 16世紀英語における形容詞の屈折比較変化と迂言比較変化 『熊本短大論集』 第44巻 1.2.3号 1-18
- 1995年 シェークスピア劇における形容詞の比較変化 『九州英文学研究』 第12号 39-57
- 1996年 現代英語の語法研究 — To spend + an expression of time + (in) + doing something における前置詞 in の出沒 — 共著 『海外事情研究』 第24巻第1号 (通巻47号) 21-32
- 1998年 現代英語の語法研究 — 相関接続詞 Either A or B について — 『海外事情研究』 第26巻第1号 99-109
- 1998年 現代英語の語法研究 — 相関接続詞 Neither A Nor B について — 熊本学園大学論集『総合科学』 第5巻第1号 (通巻第9号) 丸山和夫教授退職記念号 89-100
- 2000年 The Forms and Syntax of Verbs in Aphra Behn's 13 Short Stories 熊本学園大学論集『総合科学』 第7巻第1号 (通巻第13号) 橋本宏子教授退職記念号 19-42
- 2000年 16世紀散文の使役構文における不定詞標識について 『熊本学園大学経済学部開設三十周年記念論文集』 475-486
- 2002年 Verb forms in (E)TH and -(E)S in Sixteenth-Century English 熊本学園大学論集『総合科学』 第8巻第2号 (通巻第16号) 141-173
- 2002年 BE-Perfect with Intransitive Verbs in Sixteenth-Century English. 『海外事情研究』 第29巻第2号 (通巻58号) 熊本学園大学附属海外事情研究所 55-72
- 2002年 The ACCUSATIVE-with-INFINITIVE Construction in 16th-Century English 『熊本大学英語英文学』 第45号 63-86
- 2003年 The Third Person Singular Verbal Endings-(E)TH & -(E)S in Seventeenth-Century English 熊本学園大学論集『総合科学』 第9巻第2号 (通巻第18号) 123-147
- 2003年 -(E)TH & -(E)S as The Third Person Singular Verbal Endings in The Early Modern English Period 熊本学園大学論集『総合科学』 第10巻第1号 (通巻第19号) 藤田誠司教授退職記念号 139-165
- 2005年 近代英語における時の副詞節を導く No Sooner … But (or Than) 及びその類似表現 大津隆広・西岡宣明・松瀬憲司編 『ことばの標 平井昭徳君追悼論文集』 九州大学出版会 101-113
- 2005年 The Third Person Singular Present Indicative in Eighteenth-Century English : Verbs with the-(e)th Ending alone & Verbs with Both the -(e)th and -(e)s Endings 熊本学園大学論集『総合科学』 第12巻第1号 (通巻23号) 49-93

- 2008年 Time Conjunctions Such as ‘As Soon As ~,’ ‘No Sooner ~But/Than ~’ in Sixteenth Century Prose Works 熊本学園大学論集『総合科学』第14巻第2号(通巻28号) 39-60
- 2009年 Conjunctions Introducing an Adverbial Clause of Time in 17th-Century English Prose Works 熊本学園大学論集『総合科学』第16巻第1号 13-45
- 2011年 初期近代英語期における「~するとすぐに」の意味を持つ時の副詞節を導く接続詞の発達 『熊本学園大学経済論集』第17巻第1・2合併号(国際経済学科開設20周年記念号) 熊本学園大学経済学会 329-361
- 2013年 The Development of Conjunctions Introducing Adverbial Clauses of Time from the Second Half of the 17th Century until the First Half of the 18th Century in English Prose Works 『E R A』 Vol. 30 Nos.1 & 2 第30巻第1・2号 75-110
- 2013年 The Development of Conjunctions Introducing Adverbial Clauses of Time from the First Half of the 16th Century until the First Half of the 17th Century in English Prose Works 熊本学園大学論集『総合科学』第19巻第2号 89-133
- 2014年 The Development of the Conjunctions which Introduce the Adverbial Clause of Time in the Prose Works from the Second Half of the Eighteenth Century until the First Half of the Nineteenth Century 熊本学園大学論集『総合科学』第20巻第1・2号 45-67
- 2015年 The Forms and Syntax of Verbs in the Early Modern English and Late Modern English Periods 博士論文 広島大学大学院文学研究科 1-246
- 2018年 「~するとすぐに」の意味を持つ接続詞の発達 『熊本学園大学経済論集』第24巻 第1-4合併号 経済学部開設50周年記念号 287-315

4. 書 評

- 2007年 末松信子『ジェイン・オースティンの英語 —その歴史・社会言語学的研究—』『近代英語研究』第23号 139-145

5. 学会発表

- 1989年 英語法助動詞 ought の発達：15世紀末を中心として 日本英文学会九州支部大会
- 1995年 シェークスピアの劇における形容詞の比較変化 日本英文学会九州支部大会
- 2002年 17世紀英語における3人称単数現在活用語尾 日本英文学会第55回九州支部大会
- 2003年 17世紀英語における現在時制3人称単数形動詞活用語尾—(E)TH vs.E(S) 英語史研究会第9回大会
- 2005年 18世紀英語における現在時制3人称単数形 動詞活用語尾 -(E)TH vs. -E(S) 英語史研究会第14回大会
- 2010年 初期近代英語期の散文テキストにおける「~するとすぐに」の意味を持つ時の副詞節を導く接続詞 英語史研究会第20回記念大会

- 2011年 Shakespeare 劇 37 篇における doth vs.does and hath vs.has と 16 世紀後半から 17 世紀前半までの劇 32 篇における doth vs. does and hath vs. has の比較 広島大学大学院英語学研究会 10 月例会
- 2012年 17 世紀後半から 18 世紀前半までの散文作品における、「～するとすぐに」の意味を持つ接続詞の発達 広島大学大学院英語学研究会 ERA 5 月例会
- 2012年 17 世紀前半から 18 世紀前半までの直説法現在時制 3 人称単数形動詞活用語尾の発達 広島大学大学院英語学研究会 ERA 10 月例会
- 2013年 18 世紀後半から 19 世紀前半までの直説法現在時制 3 人称単数形動詞活用語尾の発達 広島大学大学院英語学研究会 ERA 8 月例会
- 2013年 18 世紀後半から 19 世紀前半までの英語散文で使用されている「～するとすぐに」の意味を持つ時の副詞節を導く接続詞の発達 32 のテキストを資料として 広島大学大学院英語学研究会 ERA 11 月例会
- 2014年 Shakespeare 劇 37 編における助動詞及び本動詞用法の Doth vs. Does and Hath vs. Has の各用法並びに Prose part あるいは Verse part に現れる際の使用話者の違いについて 広島大学大学院英語学研究会 5 月例会
- 2019年 Dynamic Increase of DOES that Functions as DO-support in the Late Modern English Period in English Prose Works 広島大学英語研究会 2 月例会